



世界自然遺産観光振興 シンポジウム・商談会を開催しました！

東京都と公益財団法人東京観光財団は、国内の世界自然遺産登録地のある北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県と連携し、世界自然遺産のブランドイメージを活用した観光振興を実施しています。この度、世界自然遺産の魅力を広く伝えるとともに、旅行商品の造成を支援するため、シンポジウム及び商談会を開催いたしました。

<シンポジウム>

開催日：2026年1月28日（水）14:00～16:30

会 場：オンライン

第1部：トークセッション

講演テーマ：**旅と共生**

登壇者：宮崎 美子 氏（女優）、南 圭介 氏（俳優）

第2部：日本の世界自然遺産プレゼンテーション

登壇者：小笠原諸島、知床、白神山地、屋久島、奄美・沖縄の観光関連団体に所属の有識者

<商談会>

開催日：2026年1月29日（木）13:00～17:25

会 場：品川フロントビル会議室

出展者：小笠原諸島、知床、白神山地、屋久島、奄美・沖縄の観光関連団体

第1部は、数々の番組に出演し世界遺産検定1級を取得されている女優の宮崎美子さんと旅好きで世界遺産検定マイスターも取得されている俳優の南圭介さんのお二人にご登壇いただき、お二人のご経験を交えながら、旅と日本の世界自然遺産の共生について考えるトークセッションを行いました。お二人に持ち寄っていただいたお写真とともに、世界自然遺産の魅力をお話頂きました。



第2部では、日本の世界自然遺産地域である小笠原諸島、知床、白神山地、屋久島、奄美・沖縄の観光関連団体の有識者の皆さまから、各地域の特徴、魅力、アクセス方法から地元の人しか知らないコアな情報までプレゼンテーションを行っていただきました。

シンポジウムの翌日は、日本の世界自然遺産地域各地の観光関連団体と旅行会社等のバイヤーの商談会を実施。首都圏の旅行会社が参加し、全69件の商談が行われました。

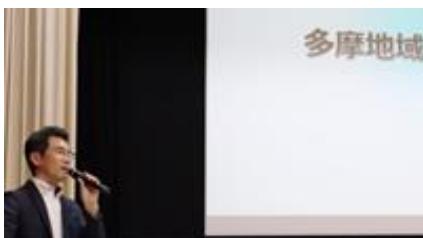




◇ 大学との連携 ◇

「多摩学」履修生による「スタディツアー」発表会について

多摩大学では、2025年秋に開講した「多摩学」（担当：長島剛教授）において、多摩圏の歴史・産業・文化・交通・社会（コミュニティ）・行財政に関する基本的な知識を学んでいます。「多摩学」は、多摩圏（多摩・神奈川）の来歴を探り、多摩の現状について考察し、未来を構想する学問です。



財団職員による講義の様子

計14回にわたる「多摩学」講義の2回目において、当財団から「東京観光の魅力から考える多摩圏の観光について」というテーマのもと、東京観光を取り巻く状況や多摩圏への誘客促進に向けた話題を提供させていただきました。熱心に耳を傾ける学生や質問に来てくれた学生が印象に残っています。学生の皆さんもその後も、多摩圏の観光のみならず、様々な分野のテーマを勉強し、多摩圏における強みや課題を発見し、自分なりの課題解決方法を身につけるための学習を行いました。

そして授業の最後の課題として、高校生・大学生を対象とした「スタディツアー」を多摩学履修の全学生が作成しました。各ツアーには、魅力ある名称がつけられており、多摩圏の製造業・農業などのものづくりの視点、フィールドワークから得られる考察、ツアーに係る時間や費用などが丁寧に書かれていました。今回はその中から、2名の学生が提案してくれたツアーがユニークでしたので、ご紹介したいと思います。

<発表者：胡桃成孝さん（1年生）>

【コース名】

小さな町の大きな生き様（狛江市）

【コース概要】

明治35年創業の地酒の籠屋秋元商店をはじめ、醸造用の畑、多摩川決壊の碑、五本松の様子など、コンパクトな市内を周りながら、過去の歴史や未来の自分を見つめることができるコース

【財団担当者の感想】

今後お酒が飲めるようになる自分も想像しながらコースを作成したとのことで、自分の住んでいる街を改めて見直した、魅力再発見コースになっていたと思います。



胡桃成孝さんの発表の様子

<発表者：ソドビリゲさん（交換留学生）>

【コース名】

多摩きのこエコスタディツアー（青梅市）

【コース概要】

青梅市にあるきのこ園での収穫体験、炭火焼を通じた食体験を通じて、都市農業がもつ教育的価値を実感できるコース

【財団担当者の感想】

「きのこ」に特化したユニークなツアー内容でした。プレゼン資料も、きのこ感あふれる凝ったスライドになっていました。実際に行ったという収穫・炭火焼体験を通じて、食育を学べるコースになっていたと思います。



ソドビリゲさんの発表の様子





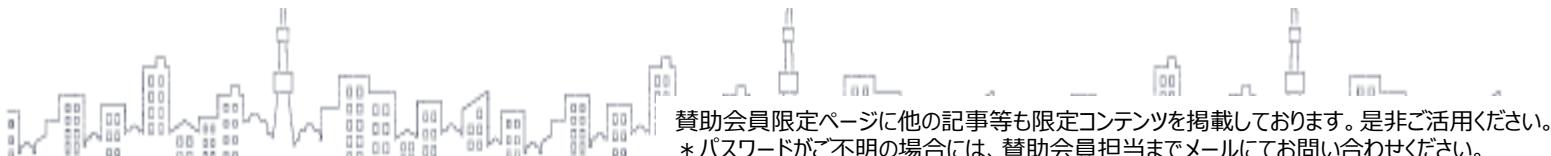
第71回伊豆大島椿まつり キャラバン隊が当財団を表敬訪問

一足早い春を告げる第71回伊豆大島椿まつりのPRのため、大島町長の坂上長一様、大島町議会議長の鶴崎勝彦様、大島観光協会会长の小池祐広様並びに第69代ミス大島の高村光璃様を中心とするキャラバン隊の皆さまが当財団へ来所されました。



伊豆大島には火山島ならではの雄大な景色や、島に自生する約300万本の椿があります。第71回伊豆大島椿まつりは、2026年3月22日（日）までの開催。島が大切にしてきた椿の美しい開花をみんなで喜ぶお祭りです。関連イベントも多数開催されますので、ぜひ足をお運びください。

椿まつりの
詳細はこち
ら



賛助会員限定ページに他の記事等も限定コンテンツを掲載しております。是非ご活用ください。
*パスワードがご不明の場合には、賛助会員担当までメールにてお問い合わせください。